

計画実現のための行政経営の更なる推進

施策 01 持続可能な行政経営の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市行財政	健全な財政運営に努めるとともに、将来にわたって持続可能な行政経営が行われます。

施策の成果状況と評価

指標	実質公債費比率（3か年平均）	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
①	【企画財政課】	%	7.0	6.3	5.9	8.8	☀
評価	<p>(状況) 実質公債費比率（3か年平均）は5.9%で、総合計画基準値（H28）と比較し1.1ポイント減少し、順調です。</p> <p>(原因) 普通会計の公債費の元利償還金に、公営企業等の元利償還金に対する繰出金を加えた「実質的な公債費の一般財源」が、標準財政規模に占める割合の3年間平均値として示したものです。交付税措置のある起債を厳選して活用していることにより、償還に係る「実質的な公債費の一般財源」の削減が図られたことによるものです。</p>					(向上) 目標達成度 (達成)	
指標	総合計画の施策成果指標向上割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
②	【企画財政課】	%	42.1	44.4	51.2	50.0	☀
評価	<p>(状況) 総合計画の施策成果指標向上割合は51.2%で、総合計画基準値（H28）と比較し9.1ポイント増加しており、順調です。成果指標が「向上」は133件あり、「防災・減災対策の推進」の施策の向上数が最も多く10件、次いで「生涯学習の推進」、「農林業の振興」の施策が8件となった一方、「学校教育の推進」で「低下」が7件に対し、「向上」が6件となりました。</p> <p>(原因) 第8次総合計画の重点事項を含む施策や、前年度の成果動向審議で優先度が高いとされた施策は、行政評価に基づいた積極的な事業展開が図られ、向上の割合が高くなる傾向にあります。</p>					(向上) 目標達成度 (達成)	
指標	標準財政規模に占める財政調整基金残高の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
③	【企画財政課】	%	17.4	17.7	18.2	10.0	☀
評価	<p>(状況) 平成30年度末の財政調整基金残高（茶畑地区産業拠点整備事業用地売却代を除く）は約34億600万円で、標準財政規模約187億6,700万円に占める割合は18.2%となりました。総合計画基準値（H28）と比較し0.8ポイント増加しており、目標値10%以上を達成しています。</p> <p>(原因) 決算剰余金を積み立てたことなどにより、基金残高が増加し、本指標が向上しました。なお、茶畑地区産業拠点整備事業用地売却代13億2,000万円は、次年度の一括償還に備えた一時的な積立てのため、基金残高から除外していますが、これを加えた場合の指標は25.2%となります。</p>					(向上) 目標達成度 (達成)	

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	計画的な行政経営の推進 (PDCA)
基本事項 02	健全な財政運営の推進
基本事項 03	公共施設マネジメントの推進
基本事項 04	適正な人事管理
基本事項 05	自主財源の確保

基本事項01 計画的な行政経営の推進 (PDCA)

指標①	行政経営情報の一元管理が進んでいると思う職員の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	58.6	79.4	86.7	65.0	(向上)
評価	<p>(状況) 行政経営情報の一元管理が進んでいると思う職員の割合は86.7%で、総合計画基準値 (H28) と比較し28.1ポイント増加しており、順調です。内訳としては、「そう思う」が10.0%、「どちらかといえばそう思う」が76.7%でした。職位別では、課長以上が94.5%と最も高く、係長は82.8%と低くなっています。</p> <p>(原因) 行政評価について、段階的に評価手法を改善しながら予算との連携を図ってきており、平成29年度からは「まちづくり報告書」を作成し公表したことで、説明責任を果たすという一つの目的が明確化されたためと考えられます。</p>						目標達成度
		(達成)					

基本事項01 計画的な行政経営の推進 (PDCA)

指標②	総合計画の基本事項成果指標向上割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	44.5	48.3	52.4	50.0	(向上)
評価	<p>(状況) 総合計画の基本事項成果指標向上割合は52.4%で、総合計画基準値 (H28) と比較し7.9ポイント増加しており、順調です。成果指標が「向上」は111件あり、「防災・減災対策の推進」の基本事項の向上数が最も多く10件、次いで「生涯学習の推進」の基本事項が8件となった一方、「地域医療体制・制度の充実」で「低下」が4件に対し、「向上」が2件となりました。</p> <p>(原因) 第8次総合計画の重点事項を含む施策や、前年度の成果動向審議で優先度が高いとされた施策は、行政評価に基づいた積極的な事業展開が図られ、向上の割合が高くなる傾向にあります。</p>						目標達成度
		(達成)					

基本事項01 計画的な行政経営の推進 (PDCA)

指標③	行政評価の考え方を意識して事業を推進している職員の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	64.6	76.4	80.8	70.0	(向上)
評価	<p>(状況) 行政評価の考え方を意識して事業を推進している職員の割合は80.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較し16.2ポイント増加しており、順調です。内訳としては、「そう思う」が14.5%、「どちらかといえばそう思う」が66.3%でした。職位別では、課長以上が94.6%と最も高く、係員は75.3%と低くなっています。</p> <p>(原因) 平成26年度から本格的に取り組んできた、現在の行政評価の目的や考え方、手法などが、浸透してきたことが要因と考えられます。一方で、行政評価研修の対象者を主任以上としてきたため、今後は係員の認知度の向上に努める必要があります。</p>						目標達成度
		(達成)					

基本事項02 健全な財政運営の推進

指標①	経常収支比率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	89.8	91.9	95.5	90.0	(低下)
評価	<p>(状況) 経常収支比率は95.5%で、総合計画基準値 (H28) と比較し5.7ポイント増加しており、目標値を超過し、順調ではありません。</p> <p>(原因) 財政構造の弾力性を表す指標で、経常一般財源に対する経常経費充当一般財源の割合から算出され、90%を超えないことが望ましいとされています。市民交流センターの開館に伴う施設維持管理費等の経常的な物件費が増加したことなどにより、硬直の度合いが高まりました。</p>						目標達成度
		(低)					

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	計画的な行政経営の推進 (PDCA)
基本事項 02	健全な財政運営の推進
基本事項 03	公共施設マネジメントの推進
基本事項 04	適正な人事管理
基本事項 05	自主財源の確保

基本事項02 健全な財政運営の推進

指標②	市民一人当たりの地方債現在高	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	円	469,817	488,191	495,227	460,000	(低下)
評価	(状況) 市民一人当たりの地方債現在高は495,227円で、総合計画基準値 (H28) と比較し、25,410円増加しました。なお、市の借金である市債残高は約378億7,200万円です。 (原因) 震災からの復旧・復興事業で積極的に市債を活用したため、市債残高が増加したことや人口が減少したことが要因です。						目標達成度
							(低)

基本事項02 健全な財政運営の推進

指標③	一般会計における基礎的財政収支 (プライマリーバランス)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	万円	-700	188,000	141,900	0	(向上)
評価	(状況) 基礎的財政収支 (プライマリーバランス) は、政策的な支出を借金に頼らず、その年度の税收等でまかない、後年度負担に転嫁していないかを示す指標です。総合基準値 (H28) は赤字でしたが、平成29年度から黒字に回復し、平成30年度も黒字となりました。 (原因) 黒字になった要因は、総合計画基準値 (H28) と比較し、市債の借入額が減少したことなどによるものです。						目標達成度
							(達成)

基本事項03 公共施設マネジメントの推進

指標①	指定管理者制度等の民間による公共施設運営割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	15.6	15.7	16.7	16.5	(向上)
評価	(状況) 指定管理者制度等の民間による公共施設運営割合は16.7%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.1ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 指定管理者制度の活用を推進し、児童クラブ館2施設を新たに追加するとともに、老朽化した施設の廃止や施設・機能の統合などにより公共施設総数が8施設減少するなど、適正化に努めていることが要因です。						目標達成度
							(達成)

基本事項03 公共施設マネジメントの推進

指標②	市民一人当たりの公共施設維持管理費	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【行政管理課】	円	47,521	50,154	71,408	47,000	(低下)
評価	(状況) 市民一人当たりの公共施設維持管理費は71,408円で、総合計画基準値 (H28) と比較し23,887円増加しており、順調ではありません。 (原因) 本庁舎及び市民交流センターの整備・供用開始に伴い、維持管理費等が増加したことが原因と考えられます。また、平成28年度と比較し、住民基本台帳人口が744人減少したことも、原因として考えられます。						目標達成度
							(低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	計画的な行政経営の推進 (PDCA)
基本事項 02	健全な財政運営の推進
基本事項 03	公共施設マネジメントの推進
基本事項 04	適正な人事管理
基本事項 05	自主財源の確保

基本事項03 公共施設マネジメントの推進

指標③	インフラ保全計画の策定件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【行政管理課】	件	3	4	4	5	(向上)
評価	(状況) インフラ保全計画の策定件数は4件で、総合計画基準値 (H28) と比較し1件増加しており、順調です。 (原因) 平成29年度に道路舗装修繕計画が策定されたことにより、インフラ保全計画の策定件数が増加したことが原因です。						目標達成度
							(中)

基本事項04 適正な人事管理

指標①	正規職員数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【人事課】	人	582	589	595	577	(横ばい)
評価	(状況) 正規職員数は595人で、総合計画基準値 (H28) と比較し13人増加しました。平成28年3月に策定した定員適正化計画により、平成27年から10年間で再任用を除く正職員を12人削減し、再任用を含めた総数を平成27年度と同数とすることを目標に取り組んでいます。 (原因) 新たな行政課題及び増大する福祉需要に対応するため、再任用を除く正職員は、38人の退職者に対して、50人を採用し、12人の増加となりました。再任用職員については、再任用を希望する職員の増加により、1人の増加となりました。						目標達成度
							(低)

基本事項04 適正な人事管理

指標②	優秀な人材が確保されていると思う職員の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【人事課】	%	81.4	83.2	78.4	85.0	(横ばい)
評価	(状況) 優秀な人材が確保されていると思う職員の割合は78.4%で、総合計画基準値 (H28) と比較し3.0ポイント減と若干低下しています。職位別では、係長以上は91.1%~82.5%と高水準となっていますが、係員が74.2%と低くなっています。 (原因) 係員は、上司の指示を受け業務を遂行しますが、同僚と事務分担をしながら業務を進めるため、自分自身の負担割合の大きさ、同僚職員の業務の補助状況等によっては、周囲に対する評価が低くなる可能性が考えられます。						目標達成度
							(低)

基本事項05 自主財源の確保

指標①	法人未申告数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【税務課】	件	31	31	18	25	(向上)
評価	(状況) 法人未申告数は18件で、総合計画基準値 (H28) と比較し13件減少しており、順調です。 (原因) 実地調査や文書送付など多様な手法を用いて、幅広く納税者に自発的な申告を促す取組に努めたことが要因と思われます。						目標達成度
							(達成)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	計画的な行政経営の推進 (PDCA)
基本事項 02	健全な財政運営の推進
基本事項 03	公共施設マネジメントの推進
基本事項 04	適正な人事管理
基本事項 05	自主財源の確保

基本事項05 自主財源の確保

指標②	市税収納率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【収納課】	%	97.5	98.0	98.6	97.5	(向上)
評価	(状況) 市税収納率は98.6%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.1ポイント増加しており、順調です。 (原因) 平成30年7月に開設した納税コールセンターにより、納付忘れなど滞納初期段階の方の自主納付を促すことができたため、職員が滞納整理に注力できたことが原因と考えられます。また、適切な不納欠損処理に努めたことも原因の一つとして考えられます。					目標達成度	
		(達成)					

基本事項05 自主財源の確保

指標③	使用料・手数料等の独自性の高い自主財源額 (市税、特定目的の基金繰入金、繰越金を除く)	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	万円	229,400	252,700	264,200	180,000	(向上)
評価	(状況) 使用料・手数料等の独自性の高い自主財源額 (茶畑地区産業拠点整備事業用地売払代を除く) は約26億4,200万円で、総合計画基準値 (H28) と比較し約3億4,800万円増加しており、順調に推移しています。 (原因) 減債基金繰入金が4億8,988万円の増となったことなどが主な要因です。なお、茶畑地区産業拠点整備事業用地売払代13億2,000万円は、翌年度一括償還予定の収入のため除外していますが、これを加えた場合の自主財源額は、約39億6,200万円になります。					目標達成度	
		(達成)					



計画実現のための行政経営の更なる推進

施策 02 効果的で効率的な事務の執行

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	市民へ質の高いサービスが効率的に提供できています。

施策の成果状況と評価

指標①	市の行政サービスに満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【行政管理課】	%	87.7	-	89.7	➔
評価	<p>(状況) 市の行政サービスに満足している市民の割合は89.7%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.0ポイント増加しており、順調に推移しています。なお、満足度の一番低い40代でも84.5%であり、全世代をとおして高い満足度となっています。</p> <p>(原因) 東日本大震災後に分散していた市庁舎が、平成29年5月以降、新庁舎として一つの建物で行政サービスを提供できるようになったことが、全体的な満足度を向上させた原因の一つと考えられます。</p>						目標達成度
		■ (高)					

指標②	効果的で効率的な事務が執行されていると思う職員の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
		【行政管理課】	%	69.1	81.5	82.8	75.0
評価	<p>(状況) 効果的で効率的な事務が執行されていると思う職員の割合は82.8%で、総合計画基準値 (H28) と比較し13.7ポイント増加しており、順調に推移しています。なお、前年度 (H29) の81.5%と比較しても1.3ポイント増加しており、特に30代で3.2ポイント、20代以下で2.7ポイント増加するなど、若い職員の増加率が高くなっています。</p> <p>(原因) 行政評価と予算の連動など、効果的で効率的な事務への取組が浸透し始めていることが原因の一つと考えられます。</p>						目標達成度
		🏰 (達成)					

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	I Tの適切な管理
基本事項 02	窓口サービスの向上
基本事項 03	適正な事務の執行

基本事項01 I Tの適切な管理

指標①	基幹系システム稼働率	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【行政管理課】	%	100.0	100.0	100.0	100.0	(向上)
評価	(状況) 平成31年1月に基幹系システムの更新が完了しましたが、データセンターにおいて新基幹系システムを安定稼働させており、稼働率100.0%を維持しています。 (原因) システム保守業者がシステムの運用状況を常時監視し、市と保守業者による運用保守状況の確認を定期的実施、システムの運用改善を行っていることが要因と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項01 I Tの適切な管理

指標②	セキュリティ事故発生件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【行政管理課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) セキュリティ事故発生件数は0件であり、情報漏えい事故や事件が未然に防止されています。 (原因) 情報セキュリティポリシーの見直しや情報セキュリティ研修の実施により、組織的な対策がしっかりと行われていたことが原因と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項02 窓口サービスの向上

指標①	窓口サービスに満足している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【企画財政課】	%	87.3	-	91.5	→	(向上)
評価	(状況) 窓口サービスに満足している市民の割合は91.5%で、総合計画基準値 (H28)と比較し4.2ポイント増加しており、順調です。 (原因) 平成29年5月から市役所新庁舎が開庁し、以前の仮設庁舎等で窓口が分散していた状況から大きく改善が図られ、総合案内の設置など窓口の案内方法等も改善されたことが要因と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項03 適正な事務の執行

指標①	不適切な事務処理 (重大なもの) が行われた件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【行政管理課】	件	0	0	1	0	(低下)
評価	(状況) 不適切な事務処理 (重大なもの) が行われた件数は1件で、総合計画基準値 (H28)と比較し1件増加しており、順調ではありません。 (原因) 平成30年11月に公金が紛失していることが発覚し、平成31年3月に市職員が逮捕されました。公金の取扱いについて、ルールが守られていなかったことが要因の一つです。						目標達成度
							(低)

計画実現のための行政経営の更なる推進

施策 03 開かれた行政の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	情報発信、広聴、情報公開を通じて市政への関心が高まり、開かれた行政になっています。また、効果的な情報発信により市の知名度や好感度が高まっています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	情報発信や広聴の機会、情報公開により開かれた行政運営をしていると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき
		【秘書広報課】	%	52.6	-	56.1	
評価	<p>(状況) 情報発信や広聴の機会、情報公開により開かれた行政運営をしていると思う市民の割合は56.1%で、総合計画基準値(H28)と比較し3.5ポイント増加しました。なお、年齢、地区別の大きな差異は見られませんでした。</p> <p>(原因) 市民への効果的な情報発信と情報の共有化に努めるとともに、更なる本市の魅力発信と市民の愛着度の醸成に取り組んでいることが要因と考えられます。</p>						(向上)
		<p>目標達成度</p> <p>■ (低)</p>					

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。



□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 広報活動の充実
基本事項 02 広聴活動の充実
基本事項 03 地域情報化の推進
基本事項 04 情報公開と適切な保護
基本事項 05 シティプロモーションの推進

基本事項01 広報活動の充実

指標①	市政情報が適切に発信されていると思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【秘書広報課】	%	69.3	-	66.9	→	
評価	(状況) 市政情報が適切に発信されていると思う市民の割合は66.9%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.4ポイント減少しましたが、実績値を市民アンケートで取得する指標のため、統計誤差の範囲内であり、横ばい状態です。なお、年齢、地区別の大きな差異は見られませんでした。 (原因) 情報伝達の多様化などが進行する中、従来の広報すかがわの発行や市ホームページに加え、SNSやラジオ広報番組などにより、時代に合わせた効果的な情報発信に努めていることが要因と考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事項02 広聴活動の充実

指標①	市政に対し市民が意見を伝える機会が十分だと思う市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【秘書広報課】	%	36.4	-	38.9	→	
評価	(状況) 市政に対し市民が意見を伝える機会が十分だと思う市民の割合は38.9%で、総合計画基準値 (H28) と比較し2.5ポイント増加しましたが、実績値を市民アンケートで取得する指標のため、統計誤差の範囲内であり、横ばい状態です。なお、年齢、地区別の大きな差異は見られませんでした。 (原因) 市民提案制度をはじめ、各種懇談会の開催、パブリックコメント及びアンケートの実施など、市民が市政に参画できる機会の拡充に努めていることが要因と考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事項02 広聴活動の充実

指標②	広聴等による意見・提案・質問数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【秘書広報課】	件	105	180	274	200	
評価	(状況) 「レポナウすかがわ」を含めた広聴等による意見・提案・質問数は274件で、総合計画基準値 (H28) と比較し169件増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 平成29年12月に画像投稿システム「レポナウすかがわ」の運用を開始したことや、市役所新庁舎の開庁、市民交流センターの開館に伴い、施設に関する提案件数が増加したことが要因です。						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事項03 地域情報化の推進

指標①	市のICTサービスを利用している市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【行政管理課】	%	51.7	-	49.9	→	
評価	(状況) 市のICTサービスを利用している市民の割合は49.9%で、総合計画基準値 (H28) と比較し1.8ポイント減少していますが、実績値を市民アンケートで取得する指標のため、統計誤差の範囲内であり、横ばい状態です。 (原因) 市ホームページや各種証明書のコンビニ交付、税金等のコンビニ納付及び各種アプリの利用率が高い反面、その他の情報サービスの利用率が低いことが要因と考えます。						(横ばい) 目標達成度 (低)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	広報活動の充実
基本事項 02	広聴活動の充実
基本事項 03	地域情報化の推進
基本事項 04	情報公開と適切な保護
基本事項 05	シティプロモーションの推進

基本事項03 地域情報化の推進

指標②	市が提供する無料公衆Wi-Fiを利用している件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【行政管理課】	件	4,000	3,998	13,541	10,000	(向上)
評価	(状況) 市が提供する無料公衆Wi-Fiを利用している件数は13,541件で、総合計画基準値 (H28) と比較し9,541件増加しており、目標値を達成しています。 (原因) 市民交流センターや小中学校の体育館など無料公衆Wi-Fiを利用できる拠点を増やしたことで、利用機会が増え、利用件数が伸びたものと思われます。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 情報公開と適切な保護

指標①	個人情報漏えい件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【行政管理課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 個人情報漏えい件数は0件で、総合計画基準値 (H28) と比較し同数であり、順調です。 (原因) マイナンバー制度について、国からの情報を全庁的に周知するとともに、全職員を対象とした情報セキュリティ研修会を実施し、個人情報保護に対する意識の醸成に努めていることが原因と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項04 情報公開と適切な保護

指標②	審査請求により情報公開となった件数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【行政管理課】	件	0	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 審査請求により情報公開となった件数は0件で、総合計画基準値 (H28) と比較し同数であり、順調です。 (原因) 個人情報保護の観点から行われる部分公開を含め、適切に情報公開が行われていることが審査請求がない理由と考えられます。						目標達成度
							(達成)

基本事項05 シティプロモーションの推進

指標①	この1年間で市外の人に対し、市の良さや魅力等を話したことがある市民の割合	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標のうごき
	【秘書広報課】	%	39.3	-	44.7	→	(向上)
評価	(状況) この1年間で市外の人に対し、市の良さや魅力等を話したことがある市民の割合は44.7%で、総合計画基準値 (H28) と比較し5.4ポイント増加しており、目標値の達成に向け、順調に推移しています。なお、年齢別の差異はありませんが、地区別では須賀川地域が高い傾向にあります。 (原因) ウルトランの力を借りたまちづくりや特撮文化の推進、さらには市民交流センターのオープンなど、本市の新たな魅力が生まれたことなどが原因と考えられます。						目標達成度
							(中)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 広報活動の充実
- 基本事項 02 広聴活動の充実
- 基本事項 03 地域情報化の推進
- 基本事項 04 情報公開と適切な保護
- 基本事項 05 シティプロモーションの推進

基本事項05 シティプロモーションの推進

	20～25歳で須賀川市に戻ってきた転入者数	単位	基準値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	目標値 (R04)	指標の うごき																
指標 ②	【企画財政課】	人	141	130	-	155																	
評 価	<p>(状況) 20～25歳で須賀川市に戻ってきた転入者数は、平成29年度130人で、総合計画基準値(H28)と比較し11人減少しました。なお、平成30年度は基幹系システム変更のため、実績値を取得できませんでした。</p> <p>(原因) 若者の地元への定着は重要な課題であり、体系的なシティプロモーションによる須賀川の魅力発信やふるさと愛の醸成、生活、雇用環境の整備などの幅広い取組を進める必要があると考えます。</p>	(人)					目 標 達 成 度																
		<table border="1" style="display: none;"> <caption>Line Graph Data</caption> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Value (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>155</td> </tr> </tbody> </table>				Year	Value (人)	H28	141	H29	130	H30	-	R01	-	R02	-	R03	-	R04	155		---
Year	Value (人)																						
H28	141																						
H29	130																						
H30	-																						
R01	-																						
R02	-																						
R03	-																						
R04	155																						